

平成29年度 第1回学校評議員会 会議録

- 1 日 時 平成29年6月12日(月) 13:30~15:00
- 2 場 所 本校 ATルーム
- 3 出席者 畑 中 新 吉 評議員 (JA新しいわて 代表理事専務)
古 武 みどり 評議員 (国際ソロプチミスト盛岡)
小野寺 浩 評議員 (同窓会部活動後援会 監事)
千 葉 康 彦 評議員 (滝沢市立滝沢第二中学校 校長)
芳 賀 興 一 評議員 (川前地区自治会 副会長)
- (学校側) 校長:岩淵健一 副校長:川村康也・牧一郎 事務長:小保内敏明
総務主任・教務主任・生徒指導主事・進路指導主事・保健主事・農場長・舎監長

4 会議録

(1) 挨拶(岩淵校長)

- ・ この4月に着任した。日頃の本校の学校経営の協力を感謝している。
- ・ 今年1年間、学校評議員として様々な面でのご支援ご指導をお願いしたい。

(2) 自己紹介

全学校評議員から自己紹介と近況報告

(3) 説明

ア 学校経営計画について(岩淵校長)

- ・ 最近の生徒については、全体的に酒・たばこ・バイクという旧来の問題は減少し、相手のことをよく考えずSNSへの書き込みを安易に行うなど、幼さを感じる問題が発生している。また、SNSの広がりから他校生徒と絡む問題も多くなっている。

本校では、素直で明るい生徒が多く、行事も充実し特色ある教育活動が展開されている。一方、様々な困難を抱えている生徒も少なくない。丁寧なケアが必要であると感じている。

そうしたことを踏まえ、職員には①授業第一(授業力の向上)、②1日1コンタクト(担任は、生徒に対して1日1回は目を合わせて声掛け等を行うこと)、③生徒に情報モラルを育むこと、の3点を求め、生徒には「命を育む」ということを基盤に、①自己決定力を培うこと、②これからの人生の土台を培うこと、を求めている。

イ 各科の重点項目及び学校概要、進路決定状況について(各課長・川村副校長)

- ・ 配付資料に沿って説明

(4) 意見交換から

A評議員 140周年記念事業の説明があったが、開催時期はいつなのか。

総務主任 平成31年度を予定している。今年度前半に創立140周年記念事業実行委員会を立ち上げ、詳細を決定していくこととしている。

A評議員 新聞で見たが、農水省では農業生産工程のGAP認証取得の取組みを推奨しているようだが、学校では何か取組みをしているか。

農場長 農水省は国際規格であるGAPの認証取得について、農業高校でも積極的に取り組んでほしいという意向である。既に五所川原農林高校では取得しており、取得に向けた取組は可能と思われる。しかし、認証取得には140万円程度の経費がかかることや、学習指導要領の改訂等の課題もあり、今後検討していくことになると思う。

校 長 認証取得には経費がかかるが、国際規格の認証を得て販路拡大に繋げたいという農水省の意向もあり、認証に向けた活動を通じて、国際規格の農業生産工程の理解を図るという面での意義も理解できる。今はGAPに係る研修等に参加しながら、職員の理解を図っていくことが必要であると考えている。

A評議員 地元企業でも40億円程度かかるが国際基準である畜産農場に係る認証HACCPの取得に取り組んでいるところがある。高校でもGAP取得に是非取り組んでほしい。

B評議員 生徒のデートDV関連の講演会等は実施しているか。

生徒主事 昨年は、県男女共同参画推進事業による講演会を実施している。

C評議員 就農アンケートでは、親の姿を見て就農は嫌だという子が少なからずいる。親が元気にしていないと子供が後を継ぐということに繋がらないと思っている。また、安代は、りんどうの生産全国一であるが後継者不足が課題となっている。

県内就職にあたり、親や地域から聞くという機会を設けているか。

校長 高校卒業と同時に就農する生徒は県内でも10名あるかないかである。農業関連の仕事を経てから、あるいは大学等を卒業してから就農している生徒は一定数把握されている。そのようなケースでは本校の教育が生かされているものと思っている。

地域から聞こえてくる話の中には、農家の後継ぎの子が本校を受験したが不合格になり困っているということがある。推薦入試の枠は定員の1割以内となっているが、推薦枠の拡大を図るなどし、地域や保護者の思いに応えていきたいと考えている。

また、農業大学校等との連携を図りながら、出来るだけ遠回りせずに就農につなげられないか模索している。農業教育のセンタースクールとして生徒の質を高め、実力を持たせて卒業させたい。

農場長 県内に畜産関係の就農施設はあまりない。畜産をやめる農家から施設設備を譲り受けて、畜産をしたいという人に活用させようという動きもあるが、遺産相続等の問題も出てくることから、なかなか進んでいないようである。

校長 第6次産業化に絡めて、「兄が生産、弟が加工」ということも、一つの形態としてあると考えており、学校として何らかの支援ができる仕組みを考えてみたい。

D評議員 昨年、プロジェクト発表会を見学した。中身の濃い発表で、充実した活動がなされていると感心した。今年はもっと多くの中学生に聞かせさせたと思っている。

農場長 多くの中学生の出席をお願いしたい。

E評議員 県高等学校総合体育大会の開会式廃止についての新聞報道があったが、本当に廃止されるのか。

校長 新聞報道が出た時は私どもも大変困惑した。現時点では何も決まっていない。遠隔地にある学校の経費や時間的な問題など様々な課題があるが、高体連の小委員会において、それらの課題に対する改善策を検討していた中で、廃止案も出てきたというものである。今後、各高校の意見等を聞きながら、理事会等で方向性が示されてくるものと承知している。

E評議員 高校時代、開会式で陸上競技場のトラックを歩いた経験があるが、あの感動は忘れられない。是非存続していただきたい。

A評議員 今後は大学生や専門学校の就農についても協力したい。

B評議員 ボランティア活動に対するソロプチミスト日本財団賞という賞がある。賞金も出ることから、母子家庭等の生徒等に紹介していただきたい。

C評議員 生徒のアルバイトは認めているか。

生徒主事 長期休業中は認めている。また、家庭事情によっては土・日も可としている。

C評議員 働くことを経験することは、自らの経験に照らしても大変有意義だと思う。アルバイトを推奨していただきたい。

E評議員 川前地区の川まつりを計画している。昨年も生徒には参加していただいたが、今年も多くの生徒の参加をお願いしたい。

(5) その他

第2回学校評議員会の開催日程について